

---

## 平成24年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成24年2月28日

質問者（質問順）

- 1 遊佐大輔委員（自民党）
- 2 鈴木太郎委員（自民党）
- 3 市野太郎委員（民主党）
- 4 中島光徳委員（公明党）
- 5 磯部圭太委員（みんな）
- 6 白井正子委員（共産党）
- 7 山田桂一郎委員（ヨコ会）

こども青少年局

# 局 別 審 査

## 1 遊 佐 大 輔 委 員 (自 民 党)

### 1 保育園の放射線対策について

- (1) 市立学校に配置された測定器の具体的な活用方法について伺いたい。
  - (2) 保育所給食食材の放射線検査の目的について伺いたい。
  - (3) 保育所給食の食材検査の具体的な実施内容について伺いたい。
  - (4) 本市が行なう食材の放射線検査について、どのように情報共有するのか。
- (要望) 放射線対策について、今後も市民の不安に寄り添い、ていねいに対応を行なうよう要望します。

### 2 保育料の見直しについて

- (1) 就学前の児童における保育園や幼稚園の利用割合はどのようになっているのか。
- (2) 保育所と横浜保育室や家庭保育福祉員、幼稚園で1人あたりの公費負担と保護者負担はどのようになっているのか。
- (3) 保育サービス利用者間の公平性を確保するために、24年度にどのような取組を行なうのか。
- (4) 今回の保育料見直しについて、保護者の方にどのように周知を図るのか。

### 3 DV対策・ひとり親支援について

- (1) 横浜市DV相談支援センターに新たに設置された専用電話による対応状況・相談状況はどうなっているのか。
- (2) 専用電話への相談内容はどのようなものか。
- (3) DV被害者からの相談に対してどのような支援を行っているのか。
- (4) 横浜市のDV対策における課題は何か。
- (5) 横浜市のひとり親世帯の実態はどうなっているのか。
- (6) ひとり親支援に対する考え方について伺いたい。

#### 4 不妊症・不育症への対応について

- (1) 不妊症の方々への支援状況について伺いたい。
- (2) 不育症の方々に対して本市はどのような支援を行っているのか。
- (3) 不育症支援に対する課題と今後の方向性を伺いたい。
- (要望) 不育症支援を継続的に行なうよう要望します。

#### 5 妊婦歯科検診について

- (1) 妊婦歯科健診事業の目的及び実施内容について改めて伺いたい。
- (2) 協力医療機関は何か所を見込んでいるか、また24年度の受診者数はどの程度だと見込んでいるか。
- (3) 受診率を高めるための周知方法について伺いたい。
- (4) 安心して健診を受けられるようにしていくために、今後、どのように取り組んでいくのか。

#### 6 道志青少年野外活動センターの見直しについて

- (1) 昨年の決算特別委員会以降、どのような検討が行なわれてきたのか。
- (2) 道志村村長をはじめとする村の職員の方々から、どのような意見を頂いたのか。
- (3) 道志村との関わりについてどう考えているのか。
- (4) 当局と道志村との間にどのような準備が行なわれているのか。
- (5) 今回の見直しを機にさらに多くの青少年、市民が道志村を訪れるよう、こども青少年局としてもPRする必要があると考えるがどうか。

2 鈴木太郎 委員（自民党）

1 児童福祉法等の改正について

- (1) 整備法の主な内容について伺いたい。
- (2) 児童福祉法の改正に伴う課題は何か。
- (3) 課題に対してどのように対応していくのか。

2 なしの木学園の再整備について

- (1) なしの木学園の現在の運営上の課題は何か。
- (2) 過去3年間の18歳を超えた入所者数の推移について伺いたい。
- (3) 過去3年間の18歳を超えた入所者の退所先と退所数について伺いたい。
- (4) 18歳を超えた入所者解消に向けたなしの木学園のこれまでの取組について伺いたい。
- (5) 民営化及び再整備によって現在の課題を解決できるのか。
- (6) 入所者に対して今後、どのような配慮、対応をしていくのか。
- (7) 民営化後のなしの木学園の果たす役割について伺いたい。

3 障害児居場所づくり事業について

- (1) 「放課後等デイサービス」の目的及び事業概要について改めて確認したい。
- (2) 障害児居場所づくり事業との違いについて伺いたい。
- (3) 「放課後等デイサービス」への移行にあたっての課題は何か。
- (4) 「放課後等デイサービス」への移行に向けた今後の取組について伺いたい。
- (5) 中期4か年計画との関係について、どのように考えているのか。

4 新規の在宅重症心身障害児者への支援事業について

- (1) 重症心身障害児者を対象とするショートステイの利用状況について伺いたい。
- (2) 事業の実施時期はいつごろを考えているのか。
- (3) メディカルショートステイ事業の実施に向けた課題は何か。

- (4) 人工呼吸器や吸引器を使用している市内在宅重症心身障害児者の把握数について伺いたい。
- (5) 昨年の中日本大震災によって明らかになった課題について伺いたい。
- (6) 助成の考え方及び内容について伺いたい。
- (7) 助成対象者への周知をどのように行なうのかについて伺いたい。

## 5 重症心身障害児施設整備について

- (1) 重症心身障害児施設整備の地元との調整状況はどうなのか。
- (2) こうした整備を待っている方のためにも、早期の着工に向け一層の努力をしていくべきではないかと思うが、それについての考え方をお聞きしたい。
- (3) 施設整備に向け、市はどのような決意をもって臨むのか、お聞きしたい。
- (4) 障害児のきょうだいであるお子さんへの支援について、どのように考えているのか。

### 3 市野太郎委員（民主党）

#### 1 待機児童対策について

- (1) ハードとソフトの両面で待機児童対策を行なうことになった経緯について伺いたい。
- (2) これまでの待機児童対策を振り返っての所感について伺いたい。
- (3) 25年4月待機児童ゼロに向けた見通しについて伺いたい。
- (4) 緊急保育対策担当係長は具体的にどのような働きをしているのか。
- (5) 待機児童対策を進める上での区役所と局との連携・役割分担について伺いたい。

#### 2 野外活動施設について

- (1) 青少年野外活動センターの設置目的、役割について伺いたい。
- (2) 「民間等による独自の運営継続」とは、どのような手法を想定しているのか。
- (3) 「民間等による独自の運営継続」を行なう場合の課題は何か。
- (4) 廃止をする場合は、代替策を前提としての施設廃止と考えて良いか。

#### 3 重症心身障害児施設整備について

- (1) 施設整備の必要性について伺いたい。
- (2) 整備用地を決めるにあたり、どのような視点で検討したのか。
- (3) 土地の選定で交通の利便性を条件とした理由について伺いたい。
- (4) 新施設では、どのような地域交流を行なうのか。

#### 4 思春期問題に対する取組について

- (1) これまで青少年の健全育成についてどのような取組をしてきたのか。
- (2) 横浜市子ども・若者支援協議会の委員構成はどのようなになっているのか。
- (3) 協議会の意見・提案の中で、「思春期問題」について、どのような方向で議論がされているのか。

(4) 実態調査の方法と内容は、どのようなものか伺いたい。

## 5 よこはま型若者自立塾について

(1) よこはま型若者自立塾の事業趣旨について伺いたい。

(2) よこはま型若者自立塾ではこれまでどのような活動が行なわれてきたのか。

(3) 事業開始以来の就労、進学についての実績を伺いたい。

(4) 具体的にどのような形で農業を中心とした訓練に取り組むのか。

(5) 今後、農業を中心とした自立塾の取組を拡大していく予定について伺いたい。

(要望) 農業訓練を受けた若者たちの雇用の場についても、力を入れて取り組むよう要望します。

4 中 島 光 徳 委員（公明党）

1 不妊・不育症への支援について

（１）不育症に関する情報提供の取組はどのようなものか。

2 母子健康手帳の改正について

（１）母子健康手帳の改正内容はどのようなものか。

（２）母子健康手帳に綴じこまれる便色カラーカードはどのように活用されるのか。

3 保育所待機児童対策について

（１）待機児童対策のこれまでの取組の中で、横浜ならではのものは何か。

（２）保育コンシェルジュのこれまでの取組状況について伺いたい。

（３）保育コンシェルジュは、区役所窓口以外でどのような活動をしているのか。

（４）認可外保育施設の立ち入り調査の際に、児童の健康や安全面について、どのような項目をチェックしているのか。

（５）認可外保育施設指導監督基準に適合している施設はどの程度あるのか。また、利用者はどのように把握ができるのか。

（６）待機児童解消に向けた２４年度の取組方針について伺いたい。

（要望）待機児童解消の実現を要望します。

4 児童虐待対策について

（１）児童相談所が把握する関係機関等からの虐待通報の実態について伺いたい。

（２）２３年度特に医療機関との連携で力を入れた取組は何か。

（３）２３年度の医療機関に向けた専門的な研修において配慮した点を伺いたい。

（４）医療機関との連携を深めるための２４年度の取組について伺いたい。

5 施設等退所後児童に対する支援について

（１）施設などを退所した子どもに対する支援の現状はどのようなものか。

- (2) 他都市における取組状況について伺いたい。
- (3) 本市は、どのようなアフターケアに取り組もうとしているのか。
- (4) 事業の実施上の課題とその対応について伺いたい。
- (要望) 事業の運営主体の選定にあたっては、十分な検討を重ねるとともに、制度の周知に関してもより工夫するよう要望します。

## 6 困難を抱える高校生に対する進路選択支援の取組について

- (1) 困難を抱える高校生支援に対する進路選択支援事業の目的について伺いたい。
- (2) これまでの支援実績について伺いたい。
- (3) 学校とNPOとの連携にあたっての課題について伺いたい。
- (4) 訪問相談を自立につなげるため、他の支援機関やプログラムとどのように連携していくのか。
- (5) 事業の今後の展開について伺いたい。

## 7 ワーク・ライフ・バランスについて

- (1) ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発に取り組む重要性に関する認識を伺いたい。
- (2) 企業向け普及・啓発の具体的な取組について伺いたい。
- (3) 企業のワーク・ライフ・バランス推進に向けた取組の今後の方向性について伺いたい。

5 磯部圭太委員（みんな）

1 保育所待機児童対策について

- (1) 横浜国立大学構内への保育所設置に至る経緯について伺いたい。
- (2) 物件情報システムの内容と成果について伺いたい。
- (3) 25年4月以降の子育て支援の取組についてどのように考えているのか。

2 認可外保育施設への指導監督・助成事業について

- (1) 本市の認可外保育施設の施設数は、どのように推移しているのか。
  - (2) 新たに健康診断費用の助成を実施するねらいについて伺いたい。
  - (3) 認可外保育施設に対する指導は、どのような流れで行なわれているのか。
  - (4) 認可外保育施設への昨年度の立入調査結果はどうか。また、指導にあたり、改善状況をどのように確認しているのか。
  - (5) 今後、認可外保育施設において子どもの安全を守るため、市としてどのように取り組んでいくのか。
- (要望) 行政としては、立入調査など、実態を把握する機会を是非生かしてもらい、立入調査により問題を指摘した改善状況をしっかりとフォローし、これまで以上に、子どもの安全と保育の質の確保に努めてもらうことを要望します。

3 児童虐待対策について

- (1) 児童虐待による死亡事例を踏まえた所感を伺いたい。
- (2) これまでの児童虐待対策において、未然防止の観点で取り組んできた対策は何か。
- (3) 乳幼児健康診査の未受診者対策強化に向けた取組について伺いたい。
- (4) 市民への広報啓発の強化に向けた取組について伺いたい。
- (5) 区・児童相談所と学校の連携強化に向けた取組について伺いたい。
- (6) 児童虐待の未然防止の観点から、子どもが命の大切さを学ぶ必要性について考えを伺いたい。

#### 4 青少年育成事業について

- (1) 全市的に青少年指導員はどのような活動を展開しているのか。
- (2) 青少年指導員に対する研修はどのように行なわれているのか。
- (3) 青少年の地域活動拠点では、どのような活動が展開されているのか。
- (4) 青少年の地域活動拠点と青少年指導員の活動を連携できるような施策について、どのように考えているのか。
- (5) 思春期キャラバンは、これまでにどのような内容で何回開催されたのか。
- (6) 24年度は具体的にどのような事業展開を考えているのか。

#### 5 障害児支援事業について

- (1) 障害児の増加に対応するため、地域療育センターでの支援の拡充に向けて、どのような取組を行なってきたのか改めて伺いたい。
  - (2) 保育所・幼稚園等への巡回訪問の実績の推移と保育所等からの評価はどのようなものか。
  - (3) 地域療育センターでは、小学校期の児童への支援として、どのような取組をしているのか。
  - (4) 学校と地域療育センターとの連携強化に向けて、具体的にどのようなことに取り組んでいるのか。
  - (5) 国が新たに制度化する「保育所等訪問支援」については、地域療育センターは導入する必要があると思うが、どのように対応していくのか。
  - (6) 学齢後期支援事業の利用実績はどのように推移しているのか。
  - (7) 学齢後期支援事業を通して明らかになった課題は何か。
  - (8) 知的障害を伴わない発達障害のある中高生への支援は、どのようなことに重点を置く必要があると考えているのか。
- (要望) 保育所・幼稚園の職員や学校の教員に対する助言、援助だけでなく、障害児本人への直接的な支援も必要であるので、そうした取組も加えて、さらに障害児支援の拡充に取り組むよう要望します。

6 地域子育て支援拠点事業について

- (1) 地域子育て支援拠点の今年度の利用実績について伺いたい。
- (2) より多くの方に地域子育て支援拠点を利用してもらうために、これまでどのようなことを行なってきたのか。また今後どのように取り組んでいくつもりか。
- (3) 出張ひろばを実施するねらいについて伺いたい。
- (4) モデル区では、具体的にどのように出張ひろばを展開していくのか。

1 困難を抱える若者支援について

- (1) ひきこもりの若者が増え、高齢化している現状についてどう考えるのか。
- (2) 市内に無業とひきこもりの若者はどのくらい存在するのか。
- (3) こども・若者育成支援推進法の趣旨と本市の子ども・若者支援協議会が、全国モデルとして指定された経緯について伺いたい。
- (4) 協議会で提案された困難を抱える子どもたちのための寄り添い型支援や「地域ユースプラザ」などの居場所づくりは24年度予算では拡充されているのか。  
(要望) 困難を抱える子どもたちのための寄り添い型支援事業について、全区で実施するよう要望します。
- (要望) 地域ユースプラザの機能拡充について、スピード感をもって実施してもらうよう要望します。
- (5) 不登校やひきこもりなどの子ども・若者を対象に地域で居場所づくりを行っている自主グループに本市として支援策はないのか。
- (6) 本市の財政状況が厳しいおり、協議会の意見・提案を事業化し、地域の自主的な子ども・若者の支援を進めていくためには、積極的に国費を活用するとともに、市費の充実も必要であると考えているが、決意を伺いたい。

- 1 「予期しない、望まない妊娠・出産」に対する本市の取組について
  - (1) 「予期しない、望まない妊娠・出産」に対して、本市の相談体制や対応状況がどのようなになっているのか。
  - (2) 生まれた子どもを育てきれない保護者に対する本市の児童相談所の相談体制がどのようなになっているのか。
  - (3) 親が育てきれない子どもを家庭的環境で育てるための里親制度などの施策を本市において今後、どのように進めようとしているのか。
  - (4) 「予期しない、望まない妊娠・出産」への対応策が存在することを、本市は市民に広く周知することが必要と考えるが、今後の方針をお聞きしたい。